

## 高等学校学習指導要領改訂の概要と課題について

新潟県立長岡高等学校 校長

伊藤 善 允

県立長岡高等学校の伊藤でございます。

今年の4月に長岡高校へ赴任したばかりでありました。その前にちょっと行政の方におりましたので、新しい指導要領については、あまりよく知らない部分も多いのですが、校長協会の教育課程専門委員会の委員長ということで、今回このシンポジウムでお話をさせていただくことになりました。よろしくお願ひいたします。

お手元の資料に沿って、学習指導要領の改訂の概要について、まずお話をしたいと思います。その上で、課題は何か、本県の高校の実態はどうか、そして、それに対してどう対応していったらいいのかということについてお話をしたいと思います。

まず、新学習指導要領改訂の概要についてであります。改訂の基本的視点として、今年度から完全学校週五日制が始まりましたが、その中で、各学校がゆとりのある教育活動を展開し、子供達に生きる力をはぐくむと言うことが基本的な視点になっております。これは平成8年の中教審答申において、ゆとりの中で「生きる力」をはぐくむということが言い出されたわけです。そこで初めてゆとりという言葉が出てきました。ところが、このゆとりというのが、どうも誤解されているようで、学校の中では、子供達の自由な時間を作っていくというふうにとられがち感じがしております。

次に、改訂の基本方針ですが、その中では、自ら学び、自ら考える力を育成することがあげられています。これまでの教育の中では、自分で考えていくと言うことが少なかったということから、これが出てくるのだと思います。

そして、ゆとりのある教育活動を展開する中で、基

礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実することがあげられております。現行の学習指導要領では、基礎・基本の重視と言うことだけが言われていたわけですが、今度は「定着」という形で出てきております。さらに、各学校が創意工夫を生かし特色ある教育、特色ある学校づくりをすすめるということが言われております。

次に、学習指導要領の主な改訂内容についてですが、まず授業時数については、標準授業時数について現行の32単位時間が30時間に減少しています。また、卒業に必要な修得総単位数が80単位以上から74単位以上に減少しています。

さらに今回の改訂では、授業時数の縮減以上に教育内容を厳選すると言うことが打ち出されてきております。現行では、基礎的、基本的内容のいっそうの精選をするという言い方だったわけですが、今度は教育内容の厳選ということが言われてきております。

外国語の必修化については、国際化に対応して、話す、聞く教育に重点を置くこととしています。

情報化社会に対応して、教科「情報」が新設されました。

「総合的な学習時間」が創設されました。これはまたあとでお話ししたいと思います。

さらに、学校設定科目、学校設定教科の新設。学習指導要領の中で教科科目については決められているわけですが、それ以外の教科科目をやる場合には、教育委員会が定めることになっていたわけですが、今度は学校が自由に教科科目を設定することができることになりまして、それぞれの学校の創意工夫を生かすことができるようになっております。

クラブ活動がなくなりました。いわゆる必修クラブ

といわれているものであります。これが発足当初はきちんと必修クラブを週1時間やることになっていたわけですが、それが有名無実化する中で従来あった部活動で代替できるという形になり、生涯スポーツの観点や社会体育への移行など外部との連携をとった活動というような観点も入ってきて、廃止されました。

次に、各教科等の改訂の概要についてであります、参考1の「新旧対照表」(付録資料1、参照)をご覧ください。新たに設けられました総合的な学習の時間は、単位数3から6単位で、特色ある教育活動や横断的・総合的な学習活動などを展開できるようにするために設けられたものです。

参考2(付録資料2、参照)は、普通教科・科目の「新旧対照表」であります。これにより必ず必修単位数が減ってきています。まず国語では必修4単位が最低2単位になっています。地歴は変わりません。公民は2単位の減、数学も2単位の減。それから、理科では、新たに理科総合A、理科総合Bが設けられました。理科総合Aというのは理科科学の分野、理科総合Bが生物地学の分野です。以前に医学部で生物を学ばない入学種がいると言うことで問題になりましたが、できるだけ広い分野を学ぶことができるようにということのようであります。芸術も3単位から2単位、外国語が逆に2単位必修になっています。家庭が4単位から2単位になり、情報2単位が新たに加わりました。現行では9教科62科目でしたが、10教科59科目になってきております。以上が大体の概要であります。

そこで、学習指導要領の実施に向けた課題についてですが、まず高等学校教育の改善・充実に向けた課題として、生徒が進路実現を図ることのできる力を身につけられるような教育課程の編成を行っていく必要があります。特に進学校においては大学入試センター試験の5教科7科目に対応できる教育課程の編成・実施が求められています。

2番目に、「総合的な学習の時間」の適切な実施に向けた課題についてですが、横断的・総合的な課題についての学習活動、興味・関心、進路等に応じて設定した課題についての学習活動、自己の在り方や生き方、進路についての学習活動など具体的に示されていますが、こういったものを地域や学校の特色、生徒の特性

等に応じて、創意工夫を生かした教育活動を行うこととされています。

3番目に、学力の維持・向上に向けた課題についてですが、新学習指導要領の実施によって学力低下が懸念されています。これは中学校段階で授業内容が相当減らされておりますので、高校では、中学校でできなかった部分をやった上でさらに高校のものをやることになる。高校の部分も大分減らされているということから、従来の内容よりもかなり薄まったものになっているわけであり、この辺のところにつきましては、さらにベネッセさんのほうから詳しくお話があらうかと思っております。

また、本県の大学等進学率につきましては、今年3月に卒業した生徒の37.1%が大学、短大に進学しておりますが、全国の大学進学率を見ますと44.8%で、全国との差は7.7ポイント開きがあります。本県の大学等の進学率は平成5年の段階ですと全国で46位だったわけであり、その後、県教育委員会では、大学等の進学率を向上させようということで事業を始めてきておまして、ようやくこの3月では全国で37番目に上がってきているわけです。が、まだまだ全国平均との差があります。特に北信越との差は大きいものがあります。石川では進学率が50%を越えており、富山が49.9%、福井が49.4%という状況で、まだまだ本県の進学率は低い状況にあります。進路希望の実現のためには、学力の維持・向上を図る必要がありますし、そのためには授業時数を確保していかなければならないということになります。

ところが、本県の生徒の学習の実態を見ますと、家庭で全く勉強をしていない生徒が年々増えてきています。ただ、昨年度よりも今年の方がちょっと下がっております。これについてもベネッセさんのほうから報告があると思いますが、まず全く学習時間ゼロというのが今年1年生が31.3%です。2年生になりますと増えまして46.5%、3年生は41.0%となっています。これは普通高校、それから専門高校(いわゆる実業高校)、全部を含めた数字であります。ちなみに公立の普通科ですと、ベネッセさんの資料では22.8%ということですから、大きく上回っているという状況であります。全く勉強していないのが多いわけですが、一方で

勉強している方はどうかというと、3.5 時間以上ですと、1 年が 3.3%、2 年が 3.4%、3 年になると 7.1% というように増えているという状況であります。

現在、大学等進学推進の事業を進めているわけですが、現実には学力不足からなかなか希望通りのところに行っていないという状況があります。県内高校全体ですので、少し数値は低くなっていますが、国公立大の希望が 1 年で 28.3% おります。それが 2 年になると 24.2%、3 年になると 21.9% になり、実現できたのが 6.3% ということで非常に低くなっております。それに対して私立大が 1 年の時 7% だったのが、卒業時に 19.7% になっております。すなわち、できれば国公立大に生きたい、これは親の希望でもあるわけですが、それがうまくいかないで私大の方に流れる、さらに専修各種学校へ流れるという現状があります。これを何とか打開するためには、基礎的な力を身につけなければならない。そのためにはやはり授業時数を多くしなければならないということで、新しい教育課程の編成に当たっては、特に授業時数の確保ということが県教育委員会からも指導されております。

授業時数については、平成 13 年度入学生では、週 32 時間の学校が 44.8% です。今年入学した 1 年生では、完全学校週五日制になりましたので、それから減りまして、授業時数週 29 時間というのが 40.6% になっています。これは現行学習指導要領の体制であります。それに対して、まだ確定した数字ではありませんが、平成 15 年度入学生につきましては、29 時間というのが 23.6% ですので、大幅に減ってきており、もう一

つの山が、32 時間のところに出てきています。32 時間が 18.2% ということで、県内の高校の中では、29、30 時間というグループと、31、32 時間というグループに大別され、それぞれの学校の特色に応じた形で教育課程の編成がなされているという状況があります。

また、年間授業時数の確保については、1 単位時間、これは普通 50 分ですが、それを 65 分や 55 分にしたり、あるいは 48 分、47 分にして 7 限までやるというようにそれぞれ何とか実質的な授業時数を増やそうと努力をしています。また、2 学期制を導入する学校もあります。普通は 3 学期制ですが、それを 2 学期制にして授業できる日数を確保しようとしています。あるいは休業日の縮減ということで、新潟市内の高校では、8 月の末あたりから授業を始めた学校がいくつか出てきております。このような形で、まず授業時数を確保することで学力をつけていこうという努力をしております。

このほか、具体的な進路実現のための各学校の取り組み等については、時間があればまた後でお話をさせていただきたいと思っております。以上、簡単に学習指導要領の改訂の内容と本県の問題点ということでお話しさせていただきました。

高等学校学習指導要領「新旧対照表」

新	現行
<p>1 授業時数・単位数等</p> <p style="padding-left: 40px;">週あたり 30 単位時間←</p> <p style="padding-left: 40px;">1 単位 現行に同じ←</p> <p style="padding-left: 20px;">(年間総授業時数 30×35=1050) ←</p> <p style="padding-left: 40px;">卒業に必要な習得単位数 74 単位←</p> <p>○完全学校週 5 日制への対応</p> <p>授業の 1 単位時間</p> <p>生徒の実態および各教科・科目等の特質を考慮して<u>適切に定めるものとする</u></p> <p>○各学校で特色ある教育活動ができるようにするため</p> <p>2 必履修科目</p> <p>「保健体育」以外の必修教科は、複数の科目から選択履修が可能</p> <p>○選択幅の拡大</p> <p>最低必履修単位数</p> <p style="padding-left: 80px;">すべての学科で 31 単位←</p> <p>○普通科、専門学科および総合学科を通じて、ある程度幅広い分野について一定の基礎的・基本的な内容をバランスよく身に付けておくことが必要とされたため。</p> <p>外国語の必修(「オーラルコミュニケーション 1」(2 単位)および「英語 1」(3 単位)のうちから 1 科目履修)</p> <p>○国際化への対応</p> <p>新設教科</p> <p style="padding-left: 20px;">「情報」 (単位数)</p> <p style="padding-left: 20px;">「情報 A」(2)</p> <p style="padding-left: 20px;">「情報 B」(2) のうちから 1 科目</p> <p style="padding-left: 20px;">「情報 C」(2)</p> <p style="padding-left: 40px;">2 単位←</p> <p>○情報化への対応</p> <p>3 職業教育を主とする学科</p> <p>専門教育に関する各学科・科目について、<u>25 単位をくだらないこと</u></p> <p>○ 完全学校週 5 日制への対応、選択幅の拡大</p>	<p>1 授業時数・単位数等</p> <p style="padding-left: 40px;">週あたり 32 単位時間</p> <p style="padding-left: 40px;">1 単位 35 単位時間</p> <p style="padding-left: 20px;">(年間総授業時数 32×35=1120)</p> <p style="padding-left: 40px;">卒業に必要な修得単位数 80 単位</p> <p>授業の 1 単位時間</p> <p>教科・科目の特質等に応じて、<u>授業の実施形態を工夫することができる</u></p> <p>2 必履修科目</p> <p>「国語 1」、「数学 1」、「体育」、「保健」は必修</p> <p>最低必履修単位数</p> <p style="padding-left: 20px;">普通科……最低 38 単位</p> <p style="padding-left: 20px;">専門学科および総合学科…最低 35 単位</p> <p>→現行にはなし</p> <p>→現行にはなし</p> <p>0 単位</p> <p>3 職業教育を主とする学科</p> <p>専門教育に関する各教科・科目について、<u>30 単位をくだらないこと</u></p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業に関する学科</li> </ul> <p style="text-align: right;">5 単位→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業に関する学科以外</li> </ul> <p style="text-align: right;">現行に同じ←</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設教科「情報」、「福祉」</li> </ul> <p>4 総合学科</p> <p>「産業社会と人間」および専門教育に関する各教科・科目をあわせて 25 単位以上設ける</p> <p>5 総合的な学習時間（新）</p> <p>単位数 3～6 単位</p> <p>（105～210 単位時間を標準）</p> <p>○特色ある教育活動や横断的・総合的な学習活動などを展開できるようにするため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業居幾を主とする学科</li> </ul> <p>総合的な学習時間における学習活動を持って課題研究等の履修の一部または全部に替えることができる。</p> <p>課題研究の履修を持って総合的な学習の時間における学習の一部または全部に変えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業に関する学科</li> </ul> <p>外国語に属する単位を 10 単位まで含めることができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業に関する学科以外</li> </ul> <p>普通教科の各教科・科目の単位を、5 単位まで含めることが可能</p> <p>→現行にはなし</p> <p>→現行にはなし</p> <p>→現行にはなし</p>
<p>6 学校設定科目、学校設定教科</p> <p>名称、目標、内容、単位数について</p> <p>…各学校の定めるところによるものとする。</p> <p>7 教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業に関する各教科・科目</li> </ul> <p>職業に関する各教科・科目については、職業体験を持って実習に替えることができること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育過程の実施等に当たって配慮すべき事項</li> </ul> <p>各教科・科目等の指導に当たっては、生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用しているようにするための学習活動の充実を努めるとともに、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること</p> <p>9 特別活動</p> <p style="text-align: right;">削除←</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動がなくなり、Aホームルーム活動、B生徒会活動、C学校行事の 3 分野</li> </ul> <p style="text-align: right;">←</p>	<p>6 その他の科目、その他特に必要な教科</p> <p>名称、目標、内容、単位数について</p> <p>…設置者の定めるところによるものとする。</p> <p>7 教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業に関する各教科・科目</li> </ul> <p>現場実習を持って実習に替えることができること。その時間数は各教科・科目の実習時間数の合計 10 分の 7 以内とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育過程の実施に当たって配慮すべき事項</li> </ul> <p>現行にはなし</p> <p>9 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームルーム活動及びクラブ活動について合わせて週あたり 2 単位時間以上</li> <li>・Aホームルーム活動、B生徒会活動、Cクラブ活動、D学校行事の 4 分野</li> </ul>

<p>・ホームルーム活動年間35単位時間以上 ←</p> <p>A ホームルーム活動 「ボランティア活動の意義の理解」が活動内容に加わった。</p> <p>B 生徒会活動 ボランティア活動が新たに加えられた</p> <p>C 学校行事 ボランティア活動が新たに加えられた</p>	<p>・ホームルーム活動には週あたり1単位時間以上担当</p> <p>→現行にはなし</p> <p>→現行にはなし</p> <p>→現行にはなし</p>
---	--

普通教科・科目「新旧対照表」

	新	現行				
国語	必修…「国語表現Ⅰ」(2)、「国語総合」(4)のうちから 1科目 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4単位</span> 選択科目…「国語表現Ⅱ」、「現代文」、「古典」、「古典講読」 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span>	必修…「国語Ⅰ」(4) 選択科目…「国語Ⅱ」、「国語表現」、「現代文」、「現代語」、 「古典Ⅰ」、「古典Ⅱ」「古典講読」 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</span>				
地理 歴史	現行に同じ← 最低4単位← 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span>	必修…「世界史A」(2)、「世界史B」(4)のうちから1 科目と「日本史A」(2)、「日本史B」(4)、「地 理A」(2)、「地理B」(4)のうちから1科目 の計2科目 4単位 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span>				
公民	必修…「現代社会」(2)1科目か「倫理」(2)と「政治・経済」(2)の 2科目 最低2単位← 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>	必修…「現代社会」(4)1科目か、「倫理」(2)と「政治・経済」 (2)の2科目 4単位 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>				
数学	必修…「数学基礎」(2)、「数学Ⅰ」(3)のうちから1科目 最低2単位← 選択科目…「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、 「数学B」、「数学C」 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</span>	必修…「数学Ⅰ」(4) 4単位 選択科目…「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、 「数学B」、「数学C」 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span>				
理科	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">                             「理科基礎」(2)                              「理科総合A」(2)                              「理科総合B」(2)                              「物理Ⅰ」(3)                              「化学Ⅰ」(3)                              「生物Ⅰ」(3)                              「地学Ⅰ」(3)                         </td> <td style="width: 70%; padding: 5px;">                             2科目必修                              (「理科基礎」、                              「理科総合A」                              又は                              「理科総合B」                              を少なくとも                              1科目含む)                         </td> </tr> </table> 選択科目…「物理Ⅱ」、「化学Ⅱ」、「生物Ⅱ」、「地学Ⅱ」 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11</span>	「理科基礎」(2) 「理科総合A」(2) 「理科総合B」(2) 「物理Ⅰ」(3) 「化学Ⅰ」(3) 「生物Ⅰ」(3) 「地学Ⅰ」(3)	2科目必修 (「理科基礎」、 「理科総合A」 又は 「理科総合B」 を少なくとも 1科目含む)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; padding: 5px;">                             「総合理科」(4) ①                              「物理ⅠA」(2)                              ②                              「物理ⅠB」(4)                              「化学ⅠA」(2)                              ③                              「化学ⅠB」(4)                              「生物ⅠA」(2)                              ④                              「生物ⅠB」(4)                              「地学ⅠA」(2)                              ⑤                              「地学ⅠB」(4)                         </td> <td style="width: 40%; padding: 5px;">                             左記の①～⑤の                              5区分から2区分に                              わたって2科目分を                              履修しなければならない                         </td> </tr> </table> 4単位 選択科目…「物理Ⅱ」、「化学Ⅱ」、「生物Ⅱ」、「地学Ⅱ」 総科目数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">13</span>	「総合理科」(4) ① 「物理ⅠA」(2) ② 「物理ⅠB」(4) 「化学ⅠA」(2) ③ 「化学ⅠB」(4) 「生物ⅠA」(2) ④ 「生物ⅠB」(4) 「地学ⅠA」(2) ⑤ 「地学ⅠB」(4)	左記の①～⑤の 5区分から2区分に わたって2科目分を 履修しなければならない
「理科基礎」(2) 「理科総合A」(2) 「理科総合B」(2) 「物理Ⅰ」(3) 「化学Ⅰ」(3) 「生物Ⅰ」(3) 「地学Ⅰ」(3)	2科目必修 (「理科基礎」、 「理科総合A」 又は 「理科総合B」 を少なくとも 1科目含む)					
「総合理科」(4) ① 「物理ⅠA」(2) ② 「物理ⅠB」(4) 「化学ⅠA」(2) ③ 「化学ⅠB」(4) 「生物ⅠA」(2) ④ 「生物ⅠB」(4) 「地学ⅠA」(2) ⑤ 「地学ⅠB」(4)	左記の①～⑤の 5区分から2区分に わたって2科目分を 履修しなければならない					

保健 体育	必修…「体育」(7~9)及び「保険」(2)  最低2単位←  総科目数2	※普通科(全日制)は9単位を下らないこと。  11単位 総科目数2
芸術	現行に同じ←  最低2単位←  総科目数12	必修…「音楽Ⅰ」(2)、「芸術Ⅰ」(2)、「工芸Ⅰ」(2)、「書道Ⅰ」(2)のうちから1科目 3単位 ※普通科は3単位を下らないこと 選択科目…「音楽Ⅱ」、「音楽Ⅲ」、「美術Ⅱ」、「美術Ⅲ」、「工芸Ⅱ」、「工芸Ⅲ」、「書道Ⅱ」、「書道Ⅲ」 総科目数12
外国 語	必修…「オーラル・コミュニケーション」(2)又は「英語Ⅰ」(3単位) 最低2単位← 選択科目…「オーラル・コミュニケーションⅡ」、「英語Ⅱ」、「リーディング」、「ライティング」  総科目数3	必修なし 0単位 選択科目…「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラル・コミュニケーションA」、「オーラル・コミュニケーションB」、「リーディング」、「ライティング」  科目数7
家庭	必修…「家庭基礎」(2)、「家庭総合」(4)、「生活技術」(4)のうちから1科目  最低2単位←  総科目数3	必修…「家庭一般」(2)、「生活技術」(4)、「生活一般」(4)のうちから1科目  4単位 総科目数3
情報	必修…「情報A」(2)、「情報B」(2)「情報C」(2)のうちから1科目  最低2単位←  総科目数3	0単位
計	10教科59科目	9教科62科目